

同窓生のための会報誌

和敬会だより

第26号



豊かな自然と調和した「大船キャンパス」

鎌倉女子大学和敬会

〒247-8511 鎌倉市岩瀬1420

☎0467-44-2111

和敬会HP <https://www.wakeikai.net>

鎌倉女子大学和敬会

検索

学校法人鎌倉女子大学の 創立100周年に向けた新たなチャレンジ

理事長 福井 一光

学校経営の難しい時代です。最大の理由は少子化ということでしょう。名の通った女子大学でも募集停止とか、あるいは連携法人との統合とか、お聞き及びのことと思います。

それもそのはず、令和4年の出生総数が80万人を大きく割り込み、5年上半期は更に落ち込んでいます。これに対して、全国の公立・私立の中学の総数が1万あまり、高校の総数が5千弱。女子の総数を各校が分け合くと、1校、中学校は37人相当、高等学校は77人相当となり、10年もすると本学の中等部・高等部にもこういう波が押し寄せて来ます。これでは団体生活の訓練の使命を負った学校の教育も、在校生並びに卒業生に永続的に母校を遺さなくてはならない私学の使命も成り立たなくなる虞がある。



そこで、中等部・高等部までは、幼稚部・初等部同様、令和8年度4月入学生から順次男子も迎え入れることにいたしました。これと共に、高校進学率が一般に97%を超えると言われ、ほぼ義務教育化されている中学校・高等学校の接続教育課程を再検討し、いっそ

う選ばれる学校になるために、次のようなコース制を編成します。

中等部からの募集 (中高6年間)

国際教養コース (特進) 120名 (男女)

Course of International Liberal Arts =

ILACコース

高等部からの募集 (高校3年間)

国際教養コース (特進) 40名 (男女)

Course of International Liberal Arts =

ILACコース

総合文理コース (進学) 80名 (男女)

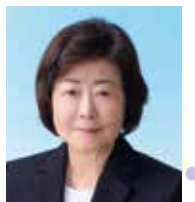
Course of Integrative Sciences and

ARTS = ISAコース

ただし、誤解なさらぬでください。鎌倉女子大学及び短期大学部は今後も伝統ある女子大学としての発展の道を歩みます。

本学は現在70ほどの女子大学の中で受験生から最も信頼され、社会的にも高く評価されている12の女子大学に数えられています。特に大きな役割の1つは教員養成、むしろ中・高等部の男女共学化を機に、充実した併設校を擁する堂々たる女子大学として、創立100周年に向けて更にレベルアップを図ってまいります。

和敬会の皆様のお支援を仰ぎたいと申し上げます。



新たな一ページを創る

会長 深山 喜美子

このたびの能登半島地震により犠牲になられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。不安な日々を過ごされていらっしゃる被災地域の会員の皆様に、安心な日々が一日も早く訪れますようお祈りしております。

母校は、昨年創立80周年を迎えました。しかし、和敬会名誉会長の松本紀子先生のご逝去という悲しみに包まれた年でもありました。6月4日の紀子先生の学園葬では、参列された会員の皆様が、紀子先生を偲び感謝とお別れの気持ちを一輪の花に込めてお参りさせていただきました。この学園葬には、「和敬会一同」として供花を贈りましたことをここに報告させていただきます。さて、学校法人鎌倉女子大学の創立80周年を迎えた母校に、和敬会として感謝とお祝いの気持ちをどのような形でお示ししたらよいか話し合いを重ねてまいりました。その結果、卒業生と母校との絆を深めてもらうために寄付をさせていただくことにいたしました。11月3日大船キャンパスみどり祭の日に支部長会を開催し、集まっていたいた地方支部の支部長、副支部長と和敬会幹事が理事長先生にお会いして、寄付金の目録贈呈をいたしました。

また、昨年度は、書面総会を開催いたしました。本来、皆様にお集まりいただいて対面で総会を開催すべきですが、まだ新型コロナウイルス

ナウイルス感染症5類移行前のため書面の開催としました。皆様のご協力により、賛成多数で「和敬会会則の改定」が承認されましたことに感謝申し上げます。返送されたはがきの貴重なご意見は、これからの和敬会活動の参考とさせていただきます。全てのはがきを読ませていただき、母校への想い、これからの和敬会のあり方へのご意見、幹事への励ましの言葉など、一枚一枚に綴られた皆様のお気持ちを大切に和敬会活動を進めてまいります。ありがとうございました。

みどり祭では、「コロナ禍で中止していた「カフエ和敬会」を、大船キャンパスでのみ実施しました。母校に集える喜びを味わいながら、久しぶりに再会した友人やお仲間と楽しそうに過ごしていらっしゃる姿を目にして安堵しました。

地方支部の活動では、対面での集いが再開し、関西支部、北海道支部、甲信越支部から報告をいただきました。私も、支部の集いに参加させていただき、皆様の近況や学生時代の思い出を伺いながら、母校の様子もお伝えしてきました。地方支部の集いも、集まりやすい小さな集いを大切にしながら、同窓生の縦横のつながりを広げる方法を工夫していただければと思います。

これまでの歩みを大切にしながら、会員の皆様と一緒に和敬会の新たな一ページを創ってまいります。今年度も、どうぞよろしくお願いいたします。

書面総会結果報告

昨年5月に行われた書面総会（議題「和敬会会則の改定について」）の返信ハガキを集計した結果、総数1708通 賛成1673通 反対10通 無効25通（会員死亡等の連絡）でした。

令和5年9月5日、和敬会幹事会において集計結果が審議され会則が改定されました。改定されました会則はホームページでご確認ください。

書面総会については、発送時のトラブルで、返信までの時間が短くなり会員の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。謹んでお詫びいたします。

皆様からは議題の賛否だけでなく、学校で学んだことを生かしてお仕事を続けている、お子さんやお孫さんが学校に、など近況報告が記載されたハガキが多数ありました。一部をご紹介します。

・昨年はテレビで鎌倉を見ることが多く、遠い昔を思い出しました。いつまでも鎌倉が大好きです。鎌倉女子大も大好きです。（S49年卒、高知県在住）

・このお便りで若い頃を懐かしく思えました（S40年卒、新潟県在住）

・母校のおたよりが届くのが楽しみです。（H13年卒、栃木県在住）

・校門の前を通るたび懐かしさがいっぱいです。（S41卒、横浜市在住）

・和敬と雅清の寮で生活していました。沢山の思い出がいっぱいです。建物はなくなってしまうけど母校へ訪ねたいです。（H13年卒、静岡県在住）

・卒業し長い月日が経ちました。学校で皆様にお世話になりました。機会があれば思い出とともに楽しいお話がしたいです。（S53年卒、伊勢原市在住）

寄付の進呈

～卒業生と学校との連携を深めるために～



支部長会開催に先立ち理事長先生へ寄付金1千万円の目録を支部長立ち合いのもと進呈いたしました。

寄付金は「卒業生と学校との連携を深めるため」にお使いいただくことになっていきます。

支部長会開催

11月3日、大船キャンパスみどり祭「カフェ和敬会」会場のカフェテリアで開催されました。

全国8支部から参加をいただき、和敬会活動及び支部活動について熱心に議論が交わされました。支部が広範囲にわたっているため、連絡の方法、会員同士の交流の持ち方や、また、役員の高齢化など問題提起や情報交換がなされました。

今回出された課題は支部間で共有し、今後も引き続き検討していきます。



紀子先生ありがとうございました

～感謝の気持ちを込めて～



学園葬 令和5年6月4日

松本紀子先生を偲んで

椎葉 キミ子 (昭和35年家政科卒)



寮生だった私に「家にピアノがあるけど良かったからどうぞ」とお声をかけてくださった素敵な方がいらっしゃいました。帰寮し先輩に話したら「そのお宅の方は紀子先生」とお聞きして、ご無礼と恥ずかしさでいっぱいになりました。卒業後、学生時代のご無礼の恥ずかしい気持ちで、博多での同窓会で紀子先生と再会しましたが、変わらず温かく接していただき感謝の気持ちでいっぱいになりました。

九州から参加させていただいた学園葬。白い花々に囲まれた荘厳な遺影の先生は、いつものように優しく微笑んでくださいました。紀子先生との「多生の縁」に触れ、改めてありがとうございましたと、感謝の気持ち伝えることができました。

月間「致知」平成27年10月号で掲載された学園主松本紀子先生の「鎌倉女子大学創始者の挑戦」「生涯現役」「人の心に火を灯す生き方」を、これからも私の指針として歩んでいきたいと思えます。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

自然界の音楽とアベマリア

坂田 映子 (昭和50年児童学科卒)

「坂田さん朗報だわ。私の父、『長井真琴』がビルマ・ラングーンでの伝紀記念式典に日本政府代表、国賓として訪問したのよ。あなたも行くのね。」電話の向こうで明るい声が響く。JICA専門委員(音楽教育)の私の仕事を喜んでくださったことに今でも感謝している。大学教員の傍ら、ミャンマー・ブータン等と国際交流を継続できたのは紀子先生の温かい励ましと後押しがあったからに他ならない。



追想すれば、紀子先生に導かれ、ネウマ譜を学びルネサンス音楽にどっぷり浸った日々が思い出される。あれから五十年、近頃はコンゴのマルミゾウの夜の歌声に感動している。「カッチーニのアベマリア」と絶滅が近いゾウの歌声が同じように聴こえて来るからである。

他方、世界は、紛争が激化し貧困と飢餓が増大している。パレスチナ、ガザ地区の犠牲者は、既に二万人に膨れ上がり、そのうち子ども八千人、女性は六千人にも及ぶという。この現実を紀子先生はどのようにお感じになるだろうか。形見となったCD『サラ・ブライトナーエデン』のアベマリアを聴くたびに思う。

「紀子先生、あちらで音楽の旅、続けていらっしゃいますか。亡くなった子どもたちに、どうか美しい音楽を聴かせてあげてください。」

ご冥福をお祈りしています。



大船キャンパス開設記念式典 平成15年4月19日

信じられない悲しみ

浦川 由美子 (昭和46年家政学科卒)

「おとめらを教るといふ大ききわざ命をかけてなさしめたまえ」お義母様の千枝子先生の教えをお守りになり学長、学園主として学園を支え続けてくださった紀子先生。お忙しい中、二階堂学舎への音楽会に誘っていただきました。紀子先生の優しく品のあるユニークなトーク、そしてモーツァルト作曲ピアノ協奏曲21番第2楽章「みじかくも美しく燃え」を優雅に奏でられました。紀子先生も参加した皆様も大好きな曲、磯部徹先生作詞作曲「遙かな友に」の合唱の指揮は、紀子先生が行われました。楽しゅうございました。たった二年前のことですが、もう二度とその日が訪れない信じられない悲しみに耐え、紀子先生に感謝の気持ちをお伝え申し上げます。長いことお世話になりました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。



映画「第三の男」のラストシーンで有名なウィーンの中央墓地で松本尚先生と

沖縄への思いとご縁に感謝

外間 邦子 (昭和36年家政科卒)



私は、昭和36年京浜女子大学短期学部家政科を卒業し、病院栄養士として約40年患者さんと共に歩んでまいりました。

沖縄出身の学生が多数学んでいたのは、松本尚先生の沖縄とのご縁に繋がります。尚先生は、終戦後の沖縄視察の時、日本復帰前の教育の遅れとその現状を憂い、京浜女子大学ができる事をお考えになられ、沖縄の教育者を多く養成する事に専念されました。その事を思い出すと沖縄への思いとご縁に心より感謝いたします。

そのご意志を引き継がれた紀子先生とのご縁は、毎年、横浜で同期の友と会ったのち、先生のお住まいに伺い楽しい時間を過ごすことでした。いつも優しい笑顔で迎えてくださり、私たちの健康を気遣う先生でした。学生時代に直接ご指導を受けていない私にも、お話する中で良さを的確に褒めてくださいました。

コロナ禍で3年間お会いできずいたことが、今でも心残りです。紀子先生、ありがとうございました。



第26回全日本合唱コンクール全国大会 昭和48年11月23日



卒業記念パーティー 卒業生のパティシエと 平成31年3月13日



卒業生に囲まれる紀子先生 平成14年3月16日

音楽を愛する心の継承を願って

パツプ 晶子 (鎌倉女子大学児童学部児童学科教授)

私が音楽教員として着任したのは、紀子先生が現役の教授でいらっしゃった1993年のことでした。新米早々から、紀子先生が熱意を持って育てられた大学合唱団の、美しく透き通る歌声のピアノ伴奏を夢中でさせていただいたことを懐かしく思い出します。2004年にご編纂された歌集『音楽の森』を基にした毎年開催の「音楽の森講座」でもピアノ担当をさせていただきました。紀子先生は、国内外の子どもの歌から合唱曲、芸術歌曲まであらゆる分野の歌を取り上げ、歌の背景、歌詞の内容の奥深さを、大正時代から戦中・戦後を通して生きてこられた体験談も交えて、毎回感動的なお話をされました。学生たちの心が温まり、豊かになる時間でした。紀子先生の音楽を愛する心を学生や子どもたちに継承していきたいと願います。



音楽の森

～紀子先生が編纂された歌曲、フォークソング、讃美歌、子どもの歌等バラエティに富んだ歌集～

聴く人にも解りやすく、歌う人にも楽しい平易なものを選曲され平成16年に初版が平成27年には改訂版が出版されました。

紀子先生は「音楽の中でも人間性を最も豊かに表現できる行為は合唱であり、音楽を日常生活にとり入れるには合唱こそが最適なものと考え」と。昔、寮の学生たちが土曜日の夜になると先生のお宅で歌を歌い、それが母体となって組織された合唱団ではピアノ伴奏もされました。また『音楽の森』のページをめくりながら学生の皆さんや、生涯学習センターの音楽講座、同じマンションにお住まいの音楽好きの方々と和やかな合唱にも『音楽の森』が活用されました。生涯音楽に親しんだ紀子先生！歌うことの楽しさを教えてください。ありがとうございます。



合唱団OGの合唱「遙かな友に」(学園葬)



みどり祭 大短・中高・幼初

今年創立80周年を迎え私たちは、その歴史を振り返る中で多くの人々が関わってきたこと、そしてその人々が様々な“想い”を持っていたであろうことに思いを馳せて皆様をお迎えしました。



創立80周年を迎えた節目として、実行委員会を中心に企画運営し、ゼミナール・学友会・有志教職員・地域連携団体らによる様々な“想い”を込めた展示や発表が行われました。

大学テーマ

80年の想いをカタチに！



卒業生の集いの場「カフェ和敬会」

4年ぶりに開催されました。



卒業以来、30年以上の時間が経っての再会に、話に花が咲きました。

中・高等部テーマ

80年の思いを込めて
～笑顔の花を咲かせよう～



中等部生は、1年生から3年生が縦割りで活動しての学習発表、高等部生は、クラスごとにゲームなどのイベントを実施し他にも、教科の展示やクラブ活動の発表が行われました。

初等部テーマ

わたしの色
君の心に届くまで



日々の授業で取り組んだ課題や、図工で制作した絵や工作はもちろん、国語・算数・理科・生活などの教科といくつかの課内クラブからさまざまな種類の作品を出展しました。

令和6年(2024年)みどり祭のお知らせ

- ・令和6年11月2日(土)、3日(祝・日) 大船キャンパス(大学)
 - ・令和6年11月9日(土)、10日(日) 岩瀬キャンパス(幼、初、中、高)
- 卒業生の集いの場「カフェ和敬会」として参加します。
詳しくは、鎌倉女子大学 和敬会HPをご覧ください。

何事にも

前向きに頑張ろう

～ 一歩一歩チームを組んで進もう～

北陸支部長 橋本玲子

前北陸支部長、富山県の野田先輩から平成27年に引き継ぎ8年目。今回、会員の皆さんの参加を集めるように北陸3県の心当たりで連絡すると、住所が変更だったり電話口に本人が出られない状態や状況だったりなど集まる事が難しい状況でした。集まれば先輩達も沢山いて、遠く離れた故郷恋しさも吹き飛ばしてくれ楽しく過ごせた記憶が思い起こされます。その先輩達も老々介護や体調不良等で参加は難しくなっています。幸いにも昭和49年卒の石川県人会がありまして、私達の学年で何とか折り合わせて集まる事ができてるのが現状です。

令和4年度 和敬会収支決算書

収入の部

費 目	決 算 金 額
同 窓 会 費	3,969,000
雑 収 入	-
預 金 利 子	2,734
前年度繰越金	96,021,455
合 計	99,993,189

支出の部

費 目	決 算 金 額
事業費	
名 簿 管 理	1,369,619
和敬会だより出版費	4,111,717
支 部 費	688,411
H P 費	347,928
みどり祭費	0
運 営 費	470,013
事 務 費	473,100
設 備・備 品 費	152,593
通 信・連 絡 費	76,706
消 耗 品 費	14,198
和敬会館事務室使用料	120,000
慶 弔 費	0
総会費用(書面)	2,458,607
引 越 費	142,120
支 出 合 計	10,425,012
繰 越 金	89,568,177
合 計	99,993,189

上記の通り相違ないことを報告いたします。

令和5年8月5日

会計監査

丸山典子
鈴木百合子

私達の頃は北陸地方からの受験者が多かったのですが・・・現在はどうでしょうか？
今後の取り組みは、『何事にも前向きに「頑張ろう」「三六五歩のマーチ」の掛け声と歌で一歩一歩チームを組んで進もう』です。
令和5年度の支部長会も8支部が参加されて開催されました。事務局の方々のご尽力により活動報告等で情報を共有することができました。ありがとうございました。

次回第13回は甲信越支部です。



お見舞い

北陸支部長の橋本さんから原稿をいただいた後に、能登半島に大きな地震が occurred。甚大な被害を受けられた和敬会会員の皆様には心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と被災地の一日も早い復興、そして被災された皆様の生活が一日も早く平穏な生活に戻られますことをお祈り申し上げます。



「和敬会会館室内のようす」
皆様のご利用をお待ちしています。

地方支部・支部長

北海道支部
東北支部
甲信越支部
北陸支部
東海支部
関西支部
中国・四国支部
九州支部
沖縄支部
関東支部

※支部の運営に協力していただける方は事務局までご連絡ください

事務局から

『名簿変更届』について

『名簿変更届』のご連絡についてのご協力を毎号でお願いしておりますが、昨年度は書面総会のハガキを利用しての連絡、二次元コードを読み込んだのホームページからの手続き、お手紙、お電話のご連絡でたくさん情報変更ができました。今後も、宛先不明の戻りを減らすことができませんように引き続き皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

住所・氏名・住所表示等の変更がございましたら

①二次元コードを読み込み【鎌倉女子大学和敬会】「名簿情報変更届」から入力ください。

②郵便（はがき・封書）での変更は、氏名、生年月日、卒業学校、届いた封書の宛名シールのバーコード下部に記載の8桁の番号を記入の上、変更事項をお知らせください。

特に地域で住所表示の変更が行われた場合、宛先不明となって戻ってきております。速やかにご連絡ください。

◎ご事情により発送停止をご希望の場合もお知らせください。

◎ご友人の方で「和敬会だより」が届いていないという方いらっしゃいましたら、事務局に正しい住所をお知らせいただき、確認するようお願いいたします。

和敬会会館の利用について

昨年、岩瀬キャンパス西館1階に移動した「和敬会会館」は以前よりも広くなりなりました。校内の一教室ですので使用時間や日時等については、学校との調整が必要ですが、以前と同様にクラス会や打ち合わせ等に使用することができません。事務局に連絡、相談いただきぜひご利用ください。

また、同窓会やクラス会を企画する際に名簿が必要な場合は、ホームページの申請紙をプリントアウトしてご記入後、和敬会事務局まで郵送してください。（その際2名様様の署名が必要となります。）

学園について

鎌倉女子大学では、日本初の小学校免許が取得できる通信制短期大学として、「短期大学部初等教育学科 通信教育課程」(男女共学)を2025年4月に開設します。「仮称・認可申請中」詳細は、大学のホームページをご覧ください。

また、中等部・高等部は2026年4月入学生より男子を迎え入れ、男女共学となります。

学校法人鎌倉女子大学の新しいチャレンジを卒業生として大いに期待してまいります。

和敬会事務局連絡先

【あて先】 鎌倉女子大学和敬会事務局

【所在地】 〒247-8511 神奈川県鎌倉市岩瀬1420番地 【電話番号】 0467-44-4119

【ホームページ】 <https://www.wakeikai.net>

*電話対応につきましては、毎月第1、第3火曜日の10時から14時にご連絡ください。



寄付募集サイトについて

学校法人鎌倉女子大学では、寄付募集を行っております。ご支援をお考えの方は、下記サイトをご覧ください。

【寄付募集サイト】 <https://www.kamakura-u.ac.jp/donate/>

【お問い合わせ】 学校法人鎌倉女子大学 事務局経理部経理課 (募金担当)



鎌倉女子大学

<https://www.kamakura-u.ac.jp>

大船 キャンパス	大学院	大学 家政学部 児童学部 教育学部	短期大学部
	〒247-8512 鎌倉市大船6丁目1番3号 TEL.0467-44-2111(代表) JR[大船駅]下車、徒歩8分		
岩瀬 キャンパス	高等部	中等部	初等部 幼稚部
	〒247-8511 鎌倉市岩瀬1420 TEL.0467-44-2200(代表) JR[大船駅]下車、バス約10分		

あとがき

学園主、和敬会名誉会長松本紀子先生の学園葬には、先生のお人柄でたくさんの方がお別れするお姿がありました。先生の教えはいつまでも私たちの心の導(しるべ)として受け継がれていくことでしょう。

大船キャンパス「みどり祭」4年ぶりに「カフェ和敬会〜卒業生の集いの場〜」を開くことができました。同窓生との久しぶりの出会い、楽しい会話もたくさん聞くことができました。やはり対面での人と人とのつながりは活気を感じます。たくさんのご来場ありがとうございました。